

(様式第4号)

第2回上田市行財政改革推進委員会 会議概要

1 審議会名	第2回上田市行財政改革推進委員会
2 日時	平成30年11月7日 午後1時30分から午後4時30分まで
3 会場	市役所東庁舎 2階 第3会議室
4 出席者	岩木副会長、倉嶋幸雄委員、小林哲哉委員、竹内玲子委員、田畑裕康委員、手塚たつ子委員、成澤さえ子委員、増子悟委員、丸山理英子委員、山浦美幸委員
5 欠席者	増澤延男会長、井上拓磨委員、越田明子委員、高橋仁委員、堀雄一委員、
6 市側出席者	宮澤市民参加・協働推進課長、北島ごみ減量企画室長、小宮山住宅課長、三井住宅課長補佐、宮澤保育課長、間宮保育課長補佐、森保育課主事、海瀬行政管理課長、渡辺行政改革担当係長、松澤行政管理課主査、坂口行政管理課主任
7 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
8 傍聴者	0人 記者 1人
9 会議概要作成年月日	平成30年11月14日

協 議 事 項 等

1 開 会
2 あいさつ (岩木副会長)
3 前回欠席者自己紹介 第1回委員会欠席の田畑委員、成澤委員より自己紹介
4 協議事項 (1) 第三次上田市行財政改革大綱アクションプログラムの進捗状況について ・【ごみの減量化・資源化の推進による循環型社会の形成】について、北島ごみ減量企画室長から資料に沿い、概要を説明 (副会長) クリーンセンターへの小学校の見学状況はどうか。 (室長) 小学4年生が社会科見学で訪れており、市側で施設概要や可燃・不燃ごみの処理状況等について説明し、ごみ減量アドバイザーが3Rの中のリサイクルよりもリデュースやリユースの重要性について説明していただいている。 (委員) ごみの分別が難しくすぎて、緑色の指定袋にプラマークが付いていないものまで入れているようである。行政に確認してもきちんと返答を頂けないことがあるということも聞いている。 (室長) 現在その点が非常に問題になっており、ごみの出し方が混乱している状況もあるが、資源化するにも分別が不十分であると処理業者から言われている。通常は素材で分別するが、緑色の指定袋をプラスチックという概念で分別されてしまっている。それだと最終的に弾かれてしまう。緑色の指定袋は、プラスチックで一度分別しておいて、分けたものが商品を包んでいる容器かどうかで分ける手間が発生する。プラスチックのバケツは赤色の指定袋になる。あくまでもお菓子の袋など商品を包んでいるプラスチックだけである。2段階で分けるため分かりにくく感じているのではないか。さらに、生ごみや紙類等も入っていて、年間2,400トンほど排出されているが、分別は全て手作業という状況である。 (委員) 汚れたものは、プラマーク付きのものは洗って乾かして緑色の指定袋に入れているが、汚れが落ちないものは可燃ごみとして出していいものなのかどうか。 (室長) 今のルールではプラスチックは可燃ごみの袋に入れられないということなので、赤色の指定袋へ入れるようになる。 (委員) ごみ減量アドバイザーと各地区にいる衛生委員と連携して啓発していかないと、我々女性団体も活動しているがなかなか解決していかない。 (委員) わかりにくい。ただ、大型店はきちんと分けてあってそれ以上は持っていない。そういうシステムにすればもっと上手いいくのではないか。自治会に加入していない人も排出する。

(室長) 自治会の皆さんと協力して啓発していきたい。

(委員) みんな袋に何でも入れてしまう。プラと書いてあるから汚れていてもみんな袋に入れてしまう。その点をうまくやっていただくと分別は進むと思う。

・【市営住宅の管理委託制度導入の可能性についての検討】について小宮山住宅課長から資料に沿った概要を説明

(委員) 7自治体は管理代行を導入しているようだが、管理代行は全て住宅供給公社か。

(課長) 全て公社である。長野市と松本市は指定管理だがいずれも公社である。

(委員) 管理代行制度の説明資料で、受託者に地方公共団体とあるがどういうことか。

(課長) 事例はないと思われるが、例えば、県営住宅の管理を上田市が請け負う場合、上田市がここに記載の地方公共団体となる。

(委員) 市営住宅の管理現状で、丸子・真田・武石は管理戸数に対してほぼ充足されているが、上田地域は3分の1が空家状態だが、今後は需要自体も減っていくと思われるが、施設も老朽化もして今後どのようにしていくのか。

(課長) ご指摘のとおり、空いている住宅が多い状況である。市営住宅の長寿命化計画においても、今後10年先を見越しても300戸程度の建て替えを予想している。老朽化が進んでいる施設については、団地によっては用途を廃止するというので、入居者を新たに募集せずに将来建て替え・取り壊しをやっていく。政策的に空家とし、将来的には除却又は建て替えを計画している。今後10年間では、緑ヶ丘の北と西の団地を緑ヶ丘団地としたいと考えている。また、上田原にも第1と第2があるが、こちらも統合していきたいと考えている。将来的には利活用する施設、用途を廃止する施設と整理していこうと計画している。

(委員) 将来的には減らす方向ということか。現状1,805戸あるが。

(課長) 10年後の目標数は1,217戸と計画している。

・【市民意見公募（パブリックコメント）の制度化】について宮澤市民参加・協働推進課長から資料に沿った概要を説明

(委員) 提出の方法で、人数と件数が合わないのはどういうことか。

(課長) 1人で2件、3件出しているケースがあるため一致していない。

(委員) 1つの意見を言ったら1件とするのか。

(課長) そのとおりである。件数が合わないのは、重複している、例えば2人の方が同じ内容のことを言った場合はまとめてしまうため、出てきた件数と結果の件数は合わない。

(副会長) 7人で18件ということは1人で何件も出してきたということか。

(課長) そのとおりである。今年度は12件を実施予定としている。ホームページをご覧いただければ詳細が掲載されているのでご覧いただきたい。

・神川地区の複合施設建設地へ移動

・【神川地区拠点整備事業】について宮澤保育課長より資料に沿った概要を説明

(委員) ここの保育園は、神川地区の方だけでなく、他地域の方も入園できるのか。

(課長) 地域要件は無く、どなたでも可能である。保育園に入園できるかとなると別の話にはなるが。

(委員) 隣接する未着工の施設はどのような事業者が参入するのか。

(課長) 輸入家具の販売や住宅店舗等のプロデュースを手掛けており、計画では店舗と診療所併用住宅を設置する予定と聞いている。

(課長) アクションプログラムに絡めた話で統合となると、次は丸子地域の中央小学校近くのかかくさ幼稚園とみなみ保育園、東内保育園の統合を平成33年4月の開園を目指して取り組んでいる。

・神川統合保育園内を見学